

競 技 注 意 事 項

1 受付について

- (1) 開場時間は7:00とする。
- (2) 各校引率教員は、競技開始 30 分前までに受付をすること。(教員の受付がないとき、生徒は競技に出場できない)。

2 競技規則および申し合せ事項について

- (1) 本大会は、2025 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- (2) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技を行う。

3 招集について

- (1) 招集所は100mスタート後方に設ける。
- (2) 招集時間は次の通り。

トラック競技	競技開始時刻の40分前から始め、20分前に完了
フィールド競技(棒高跳を除く)	競技開始時刻の50分前から始め、30分前に完了
棒高跳	競技開始時刻の90分前から始め、60分前に完了

- (3) 招集時間に遅れた者は棄権とみなし、出場を認めない。

4 リレー競技のオーダー用紙提出の時刻について

	男子	女子
4×100mRタイムレース決勝	8:20	8:10
4×400mRタイムレース決勝	13:00	12:45

- (1) 上記時刻までに記録室に提出すること。
- (2) 提出時間に遅れたチームは、棄権とみなし出場を認めない。

5 アスリートビブス(ゼッケン)について

- (1) トラック競技・投擲競技については胸背部に確実につけること。跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

6 腰ナンバーカードについて

- (1) 腰ナンバーカードは主催者で用意する。
- (2) トラック種目は腰ナンバーカードを右腰やや後方に数字がよく確認できるように付けること。競技終了後は速やかに返却すること。

7 使用器具について

- (1) 原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、「ポール」と「投擲器具」については各校から持参したものを使用する。ただし、投擲器具については大会本部にて検定を受けること。なお、検定については次のとおりにする。

検定時間	8:10~8:25
検査場所	東側器具庫

8 競技について

- (1) 使用するシューズについては、競技規則TR 5. 2を適用する。競技に使用するシューズが適用するかは、各自で、「ワールドアスレティックス承認シューズリスト」<https://certcheck.worldathletics.org/> 上で使用が承認されているかを事前に確認すること。規定外シューズ使用者の扱いについては「失格扱い」とする。
- (2) 全天候型トラックなので、トラック・フィールドともにスパイクのピンの長さは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投は12mm以下のものを使用すること。
- (3) **選手及び学校関係者はスマートフォン、ビデオ等の情報通信機器類を招集所・競技場所に持ち込むことはできない。**撮影については14項を参照のこと。
- (4) 競技中のケガ等については応急処置を行うが、その後は各学校で対処すること。
- (5) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順については、すべてプログラム記載どおりに行う。
- (6) トラック競技はすべてタイムレースで行う。
- (7) フィールド競技は3回の試技で順位決定をする。また、すべての有効試技を計測する。
- (8) 棒高跳については、天候不良の（予想される）場合、競技時刻を変更することもある。
- (9) ジュニア男女三段跳の踏切板は男子10m、女子9mとする。高さの競技におけるバーの上げ方は枠内の通りとする。
- (10) 記録の掲示は行わない。記録の発表はアナウンスおよび記録速報（東三河陸上競技協会HP）で行う。



<バーの上げ方>

(男子)	走高跳	練習 (1m45 1m80)
		1m50、1m55、1m60、1m65、
		1m80、1m85、1m88.....(以降3cmずつ)
	棒高跳	練習 (2m60 3m40 4m00)
		2m80、3m00、3m20、3m40、
		3m60、3m70(以降10cmずつ)
(女子)	走高跳	練習 (1m25 1m45)
		1m30、1m35、1m40、1m45、
		1m50、1m55、1m58.....(以降3cmずつ)
	棒高跳	練習 (1m60 2m20)
		1m80、2m00、2m20、2m30.....(以降10cmずつ)

9 表彰について

- (1) 1年生大会の種目については3位までの入賞者は賞状を授与する。リレー競技については1位のみ賞状を授与する。
- (2) 賞状の授与は顧問にまとめて行う。

10 ゴミについて

- (1) 出したゴミについては、各自が責任を持って自宅へ持ち帰ること。

11 競技場での練習について

- (1) 大会準備に支障のない範囲で可とする。ただし、ホームストリートにおける練習は競技会開始時刻の20分前までとする。
- (2) 本競技会に参加していない生徒の競技場内での練習は一切認めない。
- (3) ホームストリートのみを使用する競技(200mを含む)の競技中においては、バックストリートを利用してウォーミングアップをしてもよい。なお、最小限の人数・最小限の利用にすること。
- (4) 1500m 競技中は、バックストリート外側のレーンを利用してウォーミングアップしてもよい。ただし、バックストリートを経由して競技者が通過中は認めない。
- (5) 1500m 以外の周回競技中のバックストリートでのウォーミングアップは、最終ランナーゴールから次の組のスタートアナウンスまでの間のみ認める。
- (6) 曲走路内で競技を実施していない時間帯については、曲走路内でのハードル練習を認める。
- (7) 棒高跳ピットにおいては、棒高跳競技を実施していない時間帯においてはウォーミングアップを認める。
- (8) 競技場周辺での練習については、公園利用者等に迷惑になるような行動は慎むこと。

12 応援について

- (1) 競技スペースや立ち入り禁止区域には入らないこと。また、**正面スタンドは保護者席とし、各学校のベンチとして使用しない。**なお、マネージャー等がタイム計測等で使用することは認める。
- (2) 本部前の選手の通行を原則禁止する。ただし、直線競技終了後の選手においては、マーシャルの指示に従い、規制に従った場合において本部前の通過を認める。
- (3) 選手・生徒・学校関係者の応援は各校ベンチおよび土手面で行い、競技スペースや立ち入り禁止区域には入らないこと。
- (4) 正面スタンドにおけるメガホンなどを使用した集団応援は禁止する。
- (5) 競技の進行に支障のある応援を禁止する。特にスタート時は注意すること。

13 各校のベンチについて

- (1) 各校のベンチは土手面に設営すること。また、荷物については競技終了後、必ず持ち帰ること。
- (2) 熱中症に十分に気を付けること。

14 写真・ビデオ撮影について

- (1) 生徒たちの人権保護・肖像権保護のため、競技会における写真・ビデオ撮影について、ご理解とご協力をお願いします。各校に係る団体等が撮影を希望する場合は、必ず本部で許可を得ること。

<撮影制限について>

- 1 撮影禁止エリアは下記の場所です。
 - ◆各種目のスタート後方
 - ◆走高跳、走幅跳・三段跳・棒高跳の助走後方・着地前方
 - ◆走高跳マットに向かった正面(クリアランス動作中)
- 2 保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。
- 3 選手がスターティングブロックの足あわせをしたり、試技を待っている間や、体を動かしているなどの準備の行動は撮影を禁止します。
- 4 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者で判断した場合は、速やかに警察および関係機関に連絡をとります。